

2031年（創立100周年）に向けて社会変革に貢献する世界屈指のイノベティブな大学へ 指定国立大学構想の具体化

指定国立大学構想の各戦略に係る2018年度の特筆すべき成果

戦略① 新学術領域の開拓による世界的研究拠点の形成

- 先導的学際研究機構、データビリティフロンティア機構の機能強化による大型研究プロジェクトの推進

Society 5.0実現化研究拠点支援事業の
全国唯一の採択 (7億円/年)

核物理研究センターが
国際共同利用・共同研究拠点 に認定

戦略② 共創イノベーションによる「知」と「人材」と「資金」の好循環システムの構築

- 大阪大学が打ち出している産学共創が学外からも評価

第1回日本オープンイノベーション大賞（文部科学大臣賞）受賞
（「基礎研究段階からの産学共創～組織対組織の連携～」）



※オープンイノベーション大賞授賞式

国際特許出願件数、**世界ランキング11位** **国内1位**

戦略③ 共創イノベーションを担う優れた人材の育成・獲得

- ダイバーシティ&インクルージョンの観点から優秀な次世代の人材獲得・育成に向けた取組を積極展開

◆ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワーク中核機関(群)）の

全国唯一の採択

第5回国際女性会議 WAW!/W20にて

◆医歯薬生命系で知のプロフェッショナルを育成する
卓越大学院プログラムに採択
（本格実施への準備開始）



女性教員数85名増加 **国立大学中1位!!**

基盤強化① 国際協働ネットワークの基盤強化

- UCLに続きグローバルナレッジパートナーの枠組みでグローニンゲン大学及び上海交通大学と合意
- タイに続きインドネシアに大阪大学ASEANキャンパス設置 **世界展開の拡大**

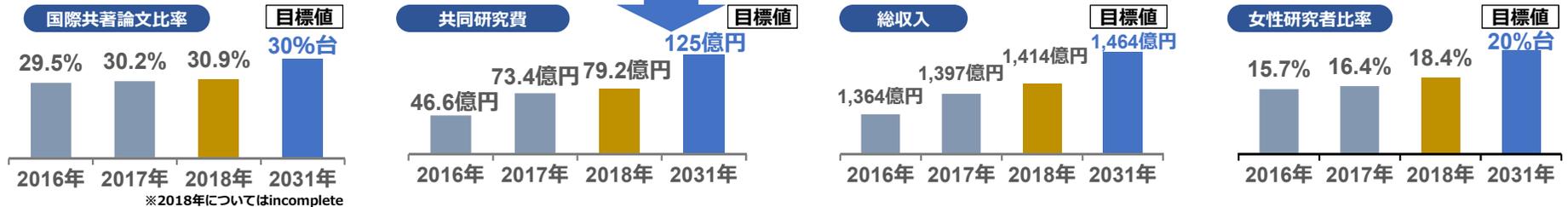


インドネシアバンドン工科大学との調印式

基盤強化② ガバナンス改革・財務基盤強化

- 共同研究講座・協働研究所を**新たに20設置**（設置数:87） **国内1位**
- 共同研究収入：79.2億円 **総収入：1,414億円**（1,000万円以上の大型共同研究の受入額約55億円(件数126件)。なお、2017年度（約50億円）は全国1位）

取組の主要KPI



主要取組の方向性
2019年度以降に向けて

2019年度総長裁量経費で研究力強化に重点投資!!

国際ジョイントラボを拡充（2023年に100の設置を目指す）

「知・人材・資金」の好循環システムの基盤強化（共創機構の機能強化）!!

- 企業の積極的な投資を呼び込む大型共同研究組成を拡大 ⇒オープンイノベーション機構設立【事業費申請中】
- 企業連合体との共創体制の構築（密接な情報共有・人事交流） ⇒大阪大学未来社会共創コンソーシアム（仮称）設立

新学術領域の開拓による世界的研究拠点の形成

研究力強化

- IFReCに続く世界トップレベルの研究拠点を3拠点程度形成する

データ駆動型研究の推進

- 学際研究プロジェクトを充実・発展させ、他機関や地方自治体等との協働を推進するとともに国際化を目指す

共創イノベーションによる「知」と「人材」と「資金」の好循環システムの構築

共創機構

- 大学発ベンチャーの起業等による事業化支援、知的財産戦略の強化
- イノベーション人材育成など産学共創の取組を深化

共創イノベーションを担う優れた人材の育成・獲得

若手教員

- 高等共創研究院での優れた若手教員の採用拡大による研究の充実・拡大
- 大学独自の採用拡大策の推進

女性研究者

- 産学官連携型ダイバーシティ事業の全国展開
- リーダーと次世代の育成強化

外国人研究者

- 国際共同研究体制の強化・充実
- クロスアポイントメント制度のさらなる活用など受入拡大、雇用システムの改革

国際協働ネットワークの基盤強化

グローバルナレッジパートナー

- パートナー間のネットワーク化（教育研究活動の世界展開）、社会課題解決志向の研究連携を推進

ASEANキャンパス

- タイ・インドネシア等4か国との間で教育研究・人材育成の本格的な連携の進展

ガバナンス改革・財務基盤強化

ガバナンス改革

- データとエビデンスに基づく、戦略企画機能と機動的な執行機能を最大化し、教職協働もさらに推進

財務基盤の強化

- 産学共創の推進・未来基金の拡充・資産運用収入の増加などの方策により財務基盤をさらに強化